

中沢勝宏の 誰にでもわかる 咬合論

CONTENTS

上村一樹 作画

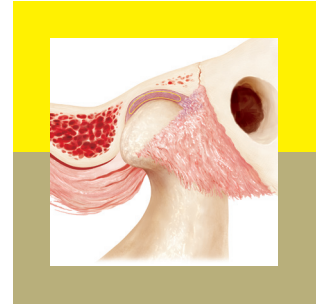


- 1 · **咬合論の誤解を解く**
 1. 顎関節を守ることができる咬合のノウハウを見出す……………6
 2. 誤解を解く……………7

- 2 · **簡単な咬合論でも解剖学は必要**
——①滑膜関節の一般解剖
 1. 滑膜関節の機能……………10
 2. 一般的滑膜関節の基本形態と病的状態……………12

- 3 · **簡単な咬合論でも解剖学は必要**
——②正常例の顎関節解剖と機能
 1. 顎関節の基本形態と病的状態……………19
 2. 関節円板と機能……………24
 3. 解剖学的には下顎頭の位置はどこにあったらよいのだろうか……………28
 4. 下顎運動時の下顎頭、関節円板関節包構造物は、解剖学的にどういう状態か……………30
 5. 関節包と機能……………34
 6. 靭帯と機能……………36
 7. 咀嚼筋とその機能……………38

- 4 · **簡単な咬合論でも解剖学は必要**
——③咀嚼筋の働きとバイオメカニクス
 1. 通常閉口位噛みしめ……………39
 2. 下顎偏心位噛みしめ……………54



5 ・ 簡単な咬合論でも解剖学は必要

—④下顎運動時の各部機能と病的状態

1. 通常開口運動時の下顎頭と周囲組織の動き……………66
2. 側方運動時の下顎頭と周囲組織の動き……………74

6 ・ 歯列レベルでの形態

1. 咬合彎曲……………82
2. 咬合平面……………82

7 ・ 生理学（神経筋機構）

簡単な生理学……………84

8 ・ 与えるべき閉口位

1. 中心位（中沢の）……………85
2. 咬頭嵌合位……………92
3. 関節に過去に異常があったと思える場合……………92

9 ・ 噛みしめのバイオメカニクス

1. 噛みしめたときには、顎関節はどうなっているか……………93
2. 顎関節のもつ粘弾性……………94
3. 固まった関節をリリースするには……………98

10 ・ 顎路の機能運動への影響

1. 顎路は関節結節との解剖学的形状によって決定される……………102
2. 側方運動……………108